

J ブランドデザイン

J-1 ブランド

新しい業態表現の創造 「交流館」から「海辺の駅」へ

消費者に広く認知されている「道の駅」「海の駅」が持つ業態イメージを活用し、当該施設の最大の魅力である様々な海辺財産を活かすため、新たに「海辺の駅」という業態表現を開発。

「道の駅」「海の駅」の業態をビジネスモデルとして、「道の駅」「海の駅」の機能を有しながら、自由度の高い公共性のあるレジャー施設の運営を目指します。

「そらうみ」ネーミングストーリー

この施設の目の前に拡がるのは、遮るものない「空」と「海」の景色。

遠く九州の山並みすら望むことが出来るこの圧倒的なロケーションの中で、人々が集う、山陽小野田市の海辺のレジャー拠点の名前です。

どの世代にも分かりやすく、ロケーションの魅力をストレートに伝えるため、すべて「ひらがな」でシンプルに表現しました。

SNSとの相性も考慮しながら、

「覚えやすい」「伝えやすい」「分かりやすい」ネーミングとしました。

広域周知も考慮して「山陽小野田」の地名もセットアップします。

「あなたが創る思い思いの海辺時間」

わたしたちのマチには、こんなにもステキな海辺があります。

「日本の夕陽百選」にも認定された「きららビーチ焼野」は、

春夏秋冬 季節ごとに表情を変えてわたしたちを海辺へ誘います。

波音を聞きながら、それぞれのライフスタイルでゆっくりと流れていく海辺の私時間。

海と空に出会う渚「そらうみ」でお会いしましょう。

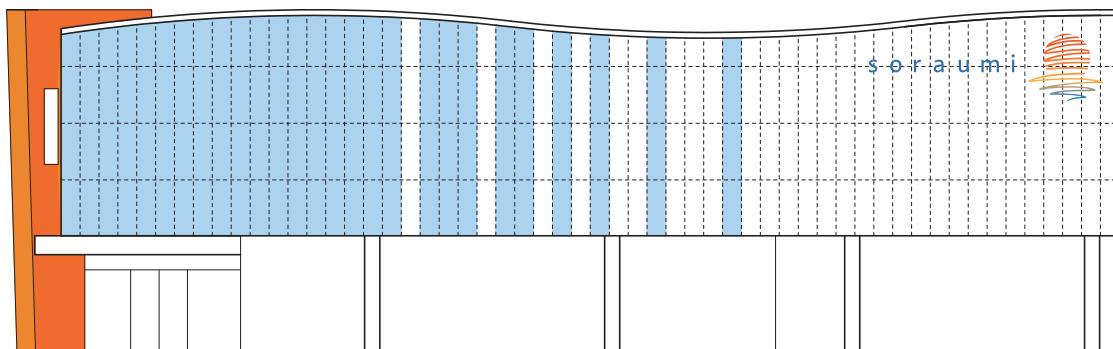


海
辺
で

海辺の駅
そらうみ
山陽小野田

s o r a u m i
SANYO-ONODA

海辺の駅
soraumi そらうみ



J-4 マークデザイン



サンセット・グラデーション

「日本の夕陽百選」に認定された「きららビーチ焼野」に沈む夕陽をモチーフにして
変わりゆく色の変化を“オレンジ” “イエロー” “ブルー” のグラデーションで表現しました。



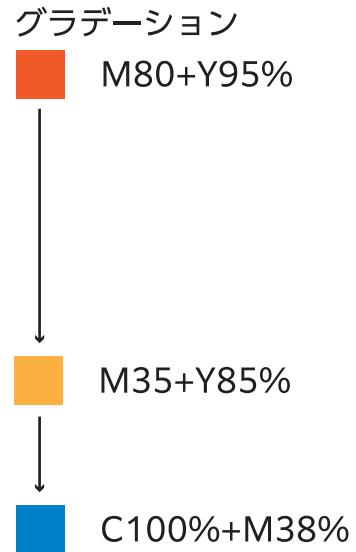
M80+Y95%

M35+Y85%

C100%+M38%



J-6 ロゴ・マーク カラーリング



海辺の駅
そらうみ
山陽小野田

C100%+M38%

J-7 ロゴ・マーク 単色（1）



海辺の駅
そらうみ
山陽小野田



 M70+Y100%

J-7 ロゴ・マーク 単色（2）



地域のブランドカラーとの共有性



山口東京理科大学



レノファ山口 FC



スマイルシティ山陽小野田

J-7 ロゴ・マーク 単色（3）

